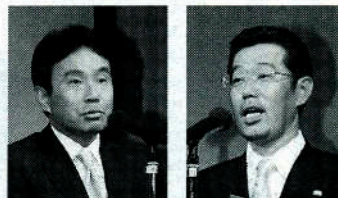


「日本製造業復活祭」華々しく

大手工作機械トップなど列席 キャンブレインが創業15周年兼ね

「15周年&日本製造業復活祭」を都内ホテルで開催した。パーティには森精機製作所、ソディック、松浦機械製作所の各社長をはじめとする有力生産財メーカーの幹部。早稲田、三重、ものづくり、一橋大などの教授。行

ITを駆使した自動車、航空機、半導体等の部品加工で実績を伸ばすキャンブレイン(東京都江戸川区、太田実社長)は、10月5日、創業15周年を記念したパーティ



挨拶する森社長(左)と太田社長(右)。

「15周年&日本製造業復活祭」と題したパーティの趣旨を説明した。キ社では、あらかじめ出席者全員に対し「製造業復活への戦略をメッセージとしてつづつてもらいたい」旨、依頼しており、パーティではそう

政担当官、工業会関係者、地場製造業のトップら100名以上が列席した。参加者はキ社の躍進を祈念しエールを送るとともに、製造業の輝かしい未来を手元に引き寄せようと気勢を上げた。最初に登壇した太田社長は来場者に謝意を示しつつ「日本が生きていくための背骨となるモノづくりが、今日お集まりの皆様の手や知恵、技術なくしてやっていけないことを、この場を通じてアピールしたかった」と、あえて「日本製造業復活祭」と題したパーティの趣旨を説明した。

やつて集めたメッセージを一冊の本に編んで全員に配布。そうしたユニークな試みもあつて、参加者の懇親が深まった。キ社に対しては「高品質な工作機械開発に欠かせないパートナー。太田社長は大学でも教えておられ、また新会社を通じてモノづくり人材の養成にも乗り出されるという。いろんな面で協力していきたい」(森精機・森雅彦社長)、「太田さんの力がないと当大学のMOI講座は止まってしまふ状態。儲かるビジネスプラン作りをともに講義・研究

していく」(三重大・渡邊明教授)、「ソニーも松下も最初は小さな会社だった。キ社さんには日本一の製造業を目指してもらいたい」(衆議院議員・平沢勝栄氏)などの挨拶が続いた。また地場製造業のトップらが「コラボレーション」してバンドを結成、彼らの演奏が場を盛り上げた。

キ社では先ごろ企業連携を目的とした新会社

「ジェイブレイン」を立ち上げており、15周年を経て今後は、新会社を通じて今後、新会社を通じて上流(CAD等)から下流(めっき処理等)の共同一括受注を目指す。また超一級のエンジニア、CADオペレーター、技術経営人材などモノづくり人材の育成事業にも取り組んでいきたいと



バンド演奏で盛り上げた。

「ジェイブレイン」を立ち上げており、15周年を経て今後は、新会社を通じて今後、新会社を通じて上流(CAD等)から下流(めっき処理等)の共同一括受注を目指す。また超一級のエンジニア、CADオペレーター、技術経営人材などモノづくり人材の育成事業にも取り組んでいきたいと